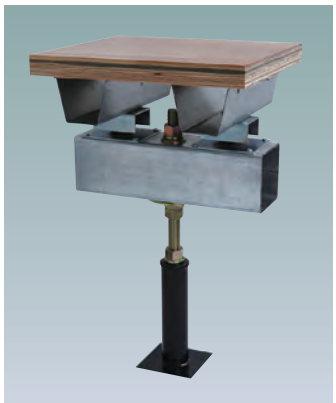
特長.2 ジム・エース《スーパーG》の 優れた耐荷重性能

SOMENOの新技術がアリーナ・多目的施設の機能性を支えています。

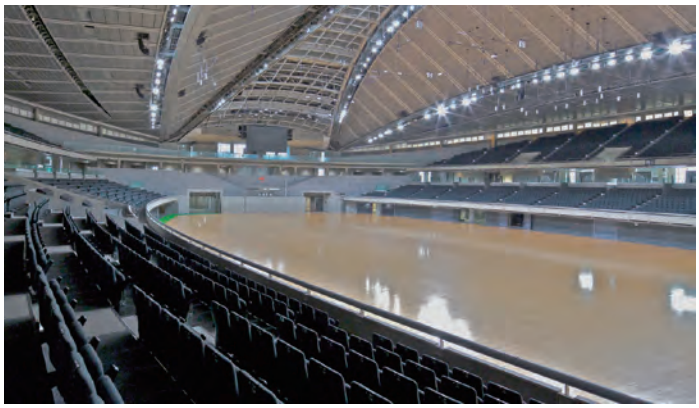
スポーツイベントとして使用する際の安全性・快適性の性能を維持した上で、耐静荷重・耐久性能を考慮するという床の課題は、あらゆる使用（荷重）条件の中で、均一な性能を維持することであり、既存の工法のみでは、解決できません。

そこで、大引とデッキプレート（根太）の間に保護装置付緩衝材を設置し荷重を分散させ、さらに最大荷重が加わった（例えばサーカスで象が１本足で立った）時点では、緩衝材の性能低下を防ぐ緩衝材保護装置が働くことにより、弾力性能を変えず常に均一な状態を保つことが可能になり、きわめて耐久性の高い工法を開発することができました。

このジム・エース《スーパーG》の工法によれば、さまざまな荷重条件での耐久性を大引の強度、デッキプレート（根太）の強度を変えることで対応できます。また、安全性・快適性については、緩衝材の形状、硬さ等を変えることで解決できます。



ジム・エース《スーパーG》

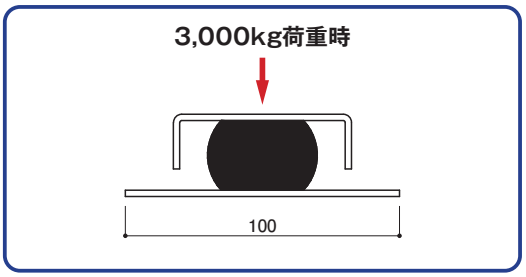


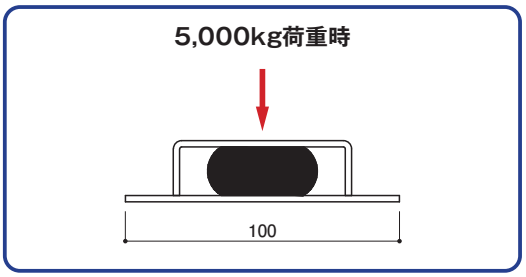
SOMENOの
ジム・エース《スーパーG》の
優れた特殊工法によって
つくられた、東京体育館

○ジム・エース《スーパーG》の耐荷重性について

スポーツ以外のイベントでは、床面に何トンもの大きな荷重が加わることもあり、運動競技に特に重要な緩衝材1カ所にかかる荷重が大きくなり、この繰り返しにより、性能低下が起こり、安全性能をそこなう結果となります。

ジム・エース《スーパーG》は、デッキプレートの底面に保護装置付緩衝材を使用することにより、荷重を分散し、さらに何トンもの荷重が加わった時点ではストッパー装置が働くことにより、緩衝材を保護し緩衝材の性能劣下を防止し、常に安定した弾力性を発揮することができます。





●集中荷重テスト（当社研究室において）